

## 1. 目的;そもそもどういう目的で誰のために作ったものか

### ●目的;

心理的問題は一般的にビジネスの世界においては表面化させるのを嫌う雰囲気があり公式に文書化することが困難でした。しかしながらプロジェクトマネジャー等における行動の基本的認識の過ちに起因する問題が多発しており、これらの問題はプロジェクトの成否に重大な影響を及ぼしています。プロジェクト成功のための大前提は、参加主要メンバーによってその目的に対する認識が正確になされていることであり、とりわけプロジェクトマネジャーにおける正しい認識およびそれに基づく適正な行動が必須要件です。

提供した自己診断問題は、長年に渡り多数のプロジェクトにおいて収集してきた経験則をもとに多くのリーダーまたはメンバーが陥りがちな認識の過ちおよび行動の過ちに関して精選したものです。

各問題における事象は主にソフトウェア開発プロジェクトにおけるマネジメントに起因するQCDに係わる重大トラブル対応および重要問題処理等の過程において収集されたものです。

提示された第1版の自己診断シートは更に多数のプロジェクトマネジャーにおいて利用されることにより改定され、進化され、汎用化に耐えるものにされるべきものです。本PM能力自己診断の基本的コンセプトは、過去の失敗に学ぶことによる誤認識および誤った行動の是正です。

## 2. 自己診断シートの構成

自己診断問題はプロジェクト主要成果要素である、品質(Quality)、コスト・プロフィット(Cost&Profit)、納期&時間(Delivery&Time)およびプロジェクトを動かす組織(Organization)の4種類に分類されます。

各問題はその分類に応じて下記に示したPQ問題18問、PC問題10問、PT問題9問、PO問題6問の合計43問として提示されています。

- ・PQ問題; 品質に対する認識(Psychological Access Sheets for Recognition of Quality)
- ・PC問題; コスト・プロフィットに対する認識(Psychological Access Sheets for Cost&Profit Recognition)
- ・PT問題; 時間に対する認識(Psychological Access Sheets for Recognition of Time)
- ・PO問題; 組織に対する認識(Psychological Access Sheets for Recognition of Organization)

## 3. 自己診断シートの内容説明

自己診断シートは下記項目にて構成されます。

### ●解答者氏名等記述欄

・氏名; 自己診断者名 ・プロジェクト名; 現在担当のプロジェクト名 ・担当業務名; PM、設計、製造、評価等

・記入日; 自己診断日付

### ●問題および解答記述欄

- ・自己診断問題の要素種類(PQ、PC、PT、PO)および一連番号の表示。
- ・認識の対象; 誤認識を起こしやすい対象の表示。
- ・Q(質問); 認識を確認するための質問文。
- ・A(解答欄); 自己における認識を記入。
- ・その理由欄; なぜそう思うか、解答の理由を記入。
- 認識度採点欄; 採点基準に従って自分の認識度について自己採点を行なう。
- 実行度採点欄; 採点基準に従って自分の認識度について自己採点を行なう。
- 解説欄; 望ましい認識についての解説。
- 認識に関連する心的要因および態度、該当開発工程、重要度。
- ・重要度; プロジェクトに対する影響度の大きさを表示。現時点では三段階の表示としそれぞれに重みをつけた。重要度大は5点、中は3点、小は1点の配点とした。
- ・該当開発工程; 関連する主な開発工程の表示。
- ・心的要因および態度; 関連する心理的要因のキーワードおよび、前進的・後退的な心的態度の表示。

## 4. 自己診断の方法

### (1) 自己診断問題シート

最初に自己診断問題シートにおいて品質問題PQ1~PQ18、コスト・プロフィット問題PC1~PC10、納期・時間問題PT1~PT9、組織問題PO1~PO6の全43問題について、その答えおよびその理由について記述する。

### (2) 自己診断解説・自己採点シート

解答記述が全て終了した後、自己診断解説・自己採点シートにおいて、まず認識度採点欄に自分の解答した認識レベルに応じた得点を記入する(採点基準は下記5.(1)に示した)。

認識度採点欄の採点が終了した後、実行度採点欄に自分の認識度に対して現実的に実際のプロジェクトにおける自分の実行度レベルに応じた得点を記入する(採点基準は下記5.(2)に示した)。

## 5. 採点基準

### (1) 認識度採点

#### ●5点問題

- 5; 完全に認識している.
- 4; ほぼ認識している.
- 3; 一部認識している.
- 2; 認識しているかどうか疑わしい.
- 1; 認識が誤っている.
- 0; 全く認識が誤っている.

#### ●3点問題

- 3; 完全に認識している.
- 2; 一部認識している.
- 1; 認識しているかどうか疑わしい.
- 0; 全く認識が誤っている.

#### ●1点問題

- 1; 認識している.
- 0; 認識していない.

### (2) 実行度採点

#### ●5点問題

- 5; 100%実行している.
- 4; 80%実行している.
- 3; 60%実行している.
- 2; 40%実行している.
- 1; 一部実行している.
- 0; 全く実行していない.

#### ●3点問題

- 3; 100%実行している.
- 2; 50%実行している.
- 1; 一部実行している.
- 0; 全く実行していない.

#### ●1点問題

- 1; 実行している.
- 0; 実行していない.

## 6. 自己評価

### (1) 認識度採点評価

- 80点以上; 合格です。なお一層みがきをかけて実行度の向上に努めて下さい。
- 79～60点; 努力が必要。認識度の低い問題に関して認識の深さ・広さの学習が必要です。
- 59点以下; 相当な認識の転換が必要です。

### (2) 実行度採点評価

- 80点以上; 合格です。改善活動等を通じて、実行度低い問題の実行度向上に努めて下さい。
- 79～60点; 努力が必要。改善活動等を通じて、実行度低い問題の実行度拡大・向上に努めて下さい。
- 59点以下; 行動が不足しています。認識度改善に努めると同時に認識を行動に移して下さい。